

栃木県酪農・肉用牛生産近代化計画概要

計画期間：令和3年度～令和12年度
 計画策定年度：令和2年度

【計画の趣旨】

「酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律」に基づき、酪農、肉用牛生産の健全な発展と、牛乳・乳製品、牛肉の安定供給に向けた取組や施策の方向を示すため、国が定めた「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針」（平成27年3月31日策定）と調和するとともに、県における酪農及び肉用牛の現状及び将来の方向を勘案し、今後10年間の県畜産振興の方向を示す計画を作成する。

【計画の内容】

- 酪農・肉用牛生産基盤の強化と持続的経営への対応
- 多様な経営形態への対応
- 需要に応じた生産・供給の実現のための対応
- 災害・伝染病から経営を守る対応

【飼養戸数・頭数目標】

酪農：飼養農家戸数は減少。1戸当たりの飼養頭数を拡大し総頭数は増加。

区域名		①総農家戸数	②飼養農家戸数	②/①	乳牛頭数		1戸当たり平均飼養頭数③/②
					③総数	④うち成牛頭数	
県全域	現在 (H30年度)	戸 55,446	戸 725	% 1.3	頭 51,900	頭 39,600	頭 72
	目標 (R12年度)		戸 562		頭 55,290	頭 42,600	頭 98

肉用牛：飼養農家数は減少。飼養頭数は増(乳用種は減少)

区域名		①総農家戸数	②飼養農家戸数	②/①	頭数				
					総数	うち繁殖雌牛頭数	うち肉専肥育牛頭数	うち乳用種頭数	うち交雑種頭数
県全域	現在 (H30年度)	戸 55,446	戸 854	% 1.54	頭 75,800	頭 12,700	頭 18,900	頭 8,700	頭 27,100
	目標 (R12年度)		戸 651		頭 87,800	頭 18,700	頭 24,200	頭 5,000	頭 29,900

【生産モデル】

酪農経営

特徴となる取組	経営形態	経産牛頭数	経産牛1頭当たり乳量	更新産次数	飼料作物面積
現規模で持続化・安定化 (52→60頭)	家族	60頭	9,500kg	3.7産	15ha
規模拡大で経営高度化 (52→100頭)	家族・法人	100頭	10,000kg	3.7産	29ha
規模拡大で経営高度化 (100→200頭)	法人・家族	200頭	10,500kg	3.7産	58ha

肉専用種繁殖経営

特徴となる取組	経営形態	繁殖牛頭数	出荷月齢	出荷体重	分娩間隔	飼料作物面積
放牧・CBS利用で効率化 (8→20頭)	家族複合	20頭	9ヶ月	300kg	12.5ヶ月	3.5ha
放牧・CBS利用で規模拡大 (30→50頭)	家族専業	50頭	9ヶ月	300kg	12.5ヶ月	6ha
省力化機械導入で規模拡大 (70→100頭)	法人家族	100頭	9ヶ月	300kg	12.5ヶ月	8ha

肉専用肥育・一貫経営

特徴となる取組	経営形態	飼養頭数	出荷月齢	1日当たり増体重	飼料作物面積
規模拡大を図る肉専用種 (60→100頭)	家族・複合	肥育牛 100頭	28ヶ月	0.92kg	1ha
ブランド化を図る交雑種肥育 (400→500頭)	法人	肥育牛 500頭	27ヶ月	1.04kg	—
繁殖・肥育一貫経営 (90→170頭)	法人・家族	肥育牛 120頭 繁殖牛 50頭	27ヶ月	0.93kg	6.2ha